

第6回中野区保育サービス利用者負担額適正化審議会 会議録

1 日時

2013（平成25）年3月21日木曜日 午後4時～午後5時

2 場所

中野区役所教育委員会室

3 出席者（敬称略）委員4名（委員3名欠席）、事務局職員

【学識経験者】

無藤隆委員、和泉徹彦委員

【子育て支援関係者】

（欠席）

【保育園関係者および幼稚園関係者】

上原秀夫委員

【公募区民】

抜田寛子委員

【事務局委員】

海老沢憲一（子ども教育部副参事保育園・幼稚園担当、就学前教育連携担当
幼児研究センター所長）

志田浩道（保育園・幼稚園分野幼児施策計画担当係長）

山口静江（保育園・幼稚園分野民間保育担当係長）

田中香（保育園・幼稚園分野幼稚園担当係長）

*傍聴者1名。

4 配布資料

資料1 審議会におけるこれまでの主な議論・意見についてのまとめ

資料2 認可保育所保育料 改定後の保育料の推移

（シミュレーション2の場合の例）

資料3 中野区における保育サービス利用者負担額のあり方について（答申）（案）

5 議題

（1）配布資料および第5回審議会議事録について確認

(委員)

本日は、前回までの主な議論・意見を確認した後に、前回に引き続き、当審議会の答申(案)について審議し、確定させたいと思います。

なお、答申(案)の内容について、私から区(事務局)に申し入れて付け加えていただいた記述がありますので報告します。それは、本来であれば、保育サービスの利用者負担額の適正化については、総運営経費等を算出したうえで、利用者が負担すべき額を検討すべきですが、今回、この審議会では、子ども・子育て支援新制度への移行期であることから、これまでの利用者負担の考え方を基礎として早急に是正する必要がある項目について検討を行ったということです。

(2) 審議開始

*** 審議会におけるこれまでの主な議論・意見について**

○資料1 審議会におけるこれまでの主な議論・意見についてのまとめ

*** 審議会答申(案)について**

○資料2 認可保育所保育料 改定後の保育料の推移(シミュレーション2の場合の例)

○資料3 中野区における保育サービス利用者負担額のあり方について(答申)(案)

(委員)

これまで審議してきた内容および答申(案)についてご意見ございますか。

****意見および修正点は、無し****

(委員)

それでは、答申(案)につきましては特段のご意見および修正は無いようですので、文章表記について若干の修正を加えた後、当審議会における答申といたします。

(3) 審議終了、今後の予定

第7回 平成25年3月28日木曜日午前9時半からの開催(予定)

終了。